

2026年4月 浜松聖書集会のご案内

(時間:午前10時～正午)

- 4月5日(日) イースター集会 (クリエート浜松 22号室)
司会:水戸 潔
聖書講話:ヨハネによる音書 21書1～19節
「私を愛するか 私に従いなさい」 武井 陽一
感話会 (イースターを迎えて、1人5分程度の感話)

- 4月12日(日) 集会 (クリエート浜松 22号室)
司会:生江 扶左子
聖書講話:ルカによる福音書 15章11～32節
「放蕩息子 父のもとに帰る」 武井 めぐみ

- 4月26日(日) 集会 (クリエート浜松 22号室)
司会:永井 徹
聖書講話:コリントの信徒への手紙I 15章1～34節
「キリストの復活と私たちの復活」 笹井 あかね

集会後、昼食の弁当を頂き、交流の時をもちます。

参加者は 武井めぐみ まで申し込みください。

保守と革新

溝口 正

保守とは、善いものを保つことである。悪いものを保つは、保守ではなく墮落である。
革新とは、悪いものを壊して 善いものを作り出すことである。悪いものを作り出すのは、革新ではなく墮落である。

世には、善いものを破壊する愚か者がいる。これは保守でも革新でもない。ならず者の仕業である。

今日の日本において、憲法第9条を固く守るのは、正しい意味において保守である。

この善きものを破壊して再軍備を推進するのは、進歩でも革新でもなく 墮落である。
いな、善いものを破壊する ならず者である。

倒壊寸前の憲法第九条を立て直し、世界に拡大して平和を作り出すものは、本来の保守であり、革新であり、進歩である。

今やわが日本は、正しい意味での保守と革新を必要とする。善いものを保ち、悪いものを破壊して、さらに善いものを保ち、悪いものを破壊して、さらに善いものを作り出すところに、日本の未来と希望がある。真の保守よ 興れ、真の革新よ 立て。

国民よ 目を覚ませ。

(1991年11月 『復活』第302号)